

# 家族で行うオートキャンプの参加動機と継続要因について

宇野和人 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)

指導教員 中野友博

キーワード：家族、オートキャンプ、参加動機、継続要因

## 1. 緒言

現在、日本では余暇活動を楽しむために様々なレジャー施設が存在している。ユニバーサルスタジオジャパンは、子どもや大人が楽しめるレジャー施設であり年間の来場者数が1000万人を超え、今なお来場者数を更新している。地方でも大型ショッピングモールがあり、気軽に家族と余暇活動を楽しむことができる。様々なレジャー施設がある中で、なぜ家族の余暇活動にオートキャンプを選んだのか。

そこで本研究は、家族でオートキャンプを行う参加動機と継続要因について明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

【調査対象】2017年10月にMオートキャンプ場を利用した家族の父親42人を対象者とした。

【調査内容】参加動機についてFunk&Bruun(2007)およびFunk, et alが作成したスポーツ参加動機に関する調査用紙を西尾(2013)が和訳したものを参考に筆者が独自に作成したものを使用した。継続要因については筆者が独自に作成した7つの質問項目を使用する。

## 3. 結果と考察

参加動機得点を年代別でみると、どの年代も4.0点以上あり参加動機得点に大きな差はみられなかった。このことからアンケートを行ったほとんどの年代で参加動機が高いといえる。特に高かった因子は休息・休養因子であった。このことからオートキャンプを行う人は自然の中でゆっくりすることを求めているといえる。

表1 年代別参加動機得点

	30代 (n=9)		40代 (n=24)		50代 (n=8)		60代 (n=1)	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
興味因子	4.8	1.1	4.4	0.7	4.7	0.6	4.8	0.4
社交因子	4.5	0.7	4.4	0.8	4.7	0.5	4.8	0.4
自己発展因子	4.4	1.1	3.9	0.9	4.1	1.0	4.5	1.0
関心因子	4.1	0.9	3.9	0.8	4.2	0.7	4.5	1.0
休憩・休息因子	4.5	0.6	4.6	0.5	4.8	0.3	5.0	0

年間オートキャンプ回数別でみると年間

回数が多いほどキャンプに対しての関心が高くなることが分かる。休息・休養因子では年間のオートキャンプ回数が多い少ないに関係なくすべての年代でのんびりしたり、鋭気を養うためにオートキャンプをしているといえる。

表2 年間オートキャンプ回数別参加動機得点

	今回が初めて (n=3)		年10回以上 (n=2)		年6~9回 (n=12)		年1~5回 (n=25)	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
興味因子	4.0	1.2	4.7	0.6	4.6	0.7	4.4	0.8
社交因子	4.4	0.7	4.8	0.4	4.6	0.6	4.5	0.8
自己発展因子	3.5	0.9	4.5	0.7	4.8	0.8	3.8	1.0
関心因子	4.1	0.7	4.1	0.7	4.0	0.8	4.0	0.9
休憩・休息因子	4.6	0.5	4.8	0.4	4.5	0.6	4.7	0.5

継続要因は、家族が楽しんでいるから、家族とコミュニケーションがとれるからという理由が多かった。家族が楽しんでいるかどうか継続して行く大きな要因になるといえる。

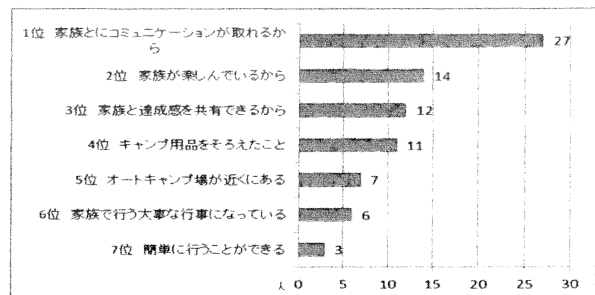


図1 継続要因アンケート結果

## 4. まとめ

参加動機得点は年代別に大きな差はなく、年間のオートキャンプ数が多いほど興味、関心が高くなる。家族とのコミュニケーションが取れ、家族が楽しんでいるというのが家族で行うオートキャンプの継続要因であるといえる。

## 引用参考文献

1) 西尾健, 岡本純也, 石盛真徳, (2013) 参加型スポーツイベントにおけるアウトバンド・ツーリストの研究- ホノルルマラソン参加者の動機と制約要因について-, スポーツ産業学研究, 第23号 (1), pp75-88